

掛時計 | 電波クロック

取扱説明書

このたびはセイコークロック商品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

この取扱説明書の内容は、将来予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。
この時計によって生じた、いかなる支出、損益、その他の損失に対して、弊社は一切の責任を負いません。
この取扱説明書の内容の一部またはすべてを、製造者の許可なく転載・変更・複製することは禁じられています。

本製品、またはアフターサービスなどについてご不明なことがありましたら、製品の裏面または底面に表示されている製品番号（品番）をご確認のうえ、セイコークロック（株）お客様相談室にお問い合わせください。

（例：AM○○○、KR○○○、SQ○○○など）

お客様相談室 0120-315-474

<http://www.seiko-clock.co.jp>

発売元

セイコークロック株式会社

説明書番号 AHS-052P

保証・アフターサービス

- この時計はメーカー保証です。保証の内容については付属の保証書をご覧ください。なお、保証書は日本国内のみ有効です。また、アフターサービスも日本国内のみの対応となります。
- 保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、販売店がお預かりし、メーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名が捺印された保証書を添えてご依頼ください。
- 保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品、および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- この時計の修理用部品は、製造終了後7年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。修理用部品とは、製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。なお、修理可能な期間は、ご使用条件により異なります。また、修理可能な場合でも、元どりの精度とならない場合があります。販売店とよくご相談ください。
- 修理の際、部品・その他の付属品は、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
- 保証期間外、または無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、販売店と修理工場との間の往復運賃など、諸費用をお客様にご負担いただきます。なお、修理代金が標準小売価格を上回る場合があります。あらかじめご承知ください。
- 保証期間中・経過後ともに、修理を依頼されるときは本製品を販売店にご持参ください。
- お客様が本製品を分解されると、修理不可能となる場合があります。また、けがの恐れがあり大変危険です。さらに、保証の対象外となりますので、ご注意ください。
- ご不明な点は、お客様相談室にお問い合わせください。

必ずお守りください 安全上のご注意

警告

<アルカリ電池について>

- (1) ショートさせたり、分解、加熱、火への投入などを行わないでください。アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
- (2) 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合は、きれいな水で洗い流してください。また、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

<梱包用ポリ袋について>

窒息する恐れがありますので、ポリ袋を絶対にかぶらないでください。

注意

<掛け方について>

時計は確実に掛けてください。
時計の落下により、けがをしたり器物を破損する恐れがあります。
掛ける場所、壁の材質・構造をご確認のうえ、本製品の重さに充分耐えられる掛け具を選んでください。ご使用の際は、同梱の『製品のお取扱いに関する重要なお知らせ』も必ずお読みください。記載された場所以外に取り付ける場合は、建築メーカーなどにご相談ください。
※掛け具に時計を掛けた際、時計を上下左右、そして手前に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。

厚い木の壁・木の柱に掛けるとき	付属の木ねじをご使用ください。
石膏ボードの壁に掛けるとき ※製品によっては、掛け具が付属しないものがあります	付属の掛け具（掛金具、釘）をご使用ください。 ※付属していない場合は、市販の掛け具をご使用ください。
コンクリートなど、上記以外の壁や柱に掛けるとき	付属の掛け具は使用しないでください。 市販の掛け具をご使用ください。 ※市販の掛け具によっては、正しい掛け方ができない場合があります。上記の<掛け方について>をよくお読みのうえ、本製品に適した掛け具をご使用ください。

<時計の設置場所について>

落下により、けがをしたり器物を破損する恐れがありますので、振動のある場所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

<電池について>

下記の注意事項を必ず守ってください。電池の使い方を間違えると、液漏れや破裂によるけがの恐れがあり、また、機器の故障の原因となります。

- (1) 電池は必ず⊖側から入れてください。また、⊕⊖を正しく入れてください。
- (2) 製品仕様に記載された電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていても、すべて新しい電池と交換してください。
また、時計を使わないときは、電池をすべて取り外してください。電池を入れたままにしておくと、古い電池からの液漏れなどにより、時計や周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
- (3) 付属の電池は充電式ではありません。充電すると液漏れや破損の恐れがあります。
- (4) 電池に直接ハンダ付けしたり、水滴を付けないでください。
- (5) 直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所を避けて保管してください。また、使用済みの電池は速やかに処分するか、幼児の手の届かない所に保管してください。
- (6) 時計が動かない場合などは、電池の端子が汚れていることがあります。そのときは、やわらかい布などでクリーニングしてください。
- (7) 付属の電池は、工場出荷時に同梱されています。お買い上げ後、製品仕様の表示より電池寿命が短いことがあります。
- (8) 充電式電池や初期電圧が高い電池を使用しないでください。正常に動作しなかったり、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

<時計と電池の廃棄について>

お住まいの自治体の定める規則に従い、廃棄してください。

使用上のご注意

- 本製品は日本標準電波仕様のため、海外では電波修正機能は使用できません。
- 本製品にはマイコンが内蔵されています。静電気などにより誤作動することがありますが、故障ではありません。誤動作した場合は、リセットボタンを押してください。
- リセットボタンを押した場合は、表示されていた時刻などはすべてリセットされます。
- 海外で使用される場合は、手動で時刻を合わせてください。

必ずお読みになってからご使用ください

使用場所について

- 下記のような場所では使用しないでください。
時計や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。
また、本製品は業務用ではありません。
- 温度が50℃以上になる所や直射日光の当たる所。
（例）屋外、または暖房器具などの熱風や火気に近い所。
 - 温度が-10℃以下になる所。
プラスチック製の部品や電池が劣化することがあります。
 - ちり・ほこりの多い所。
空気中に舞上がったごみが歯車や接点に挟まり、時計が止まる場合があります。
 - 大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
磁力の影響で、進み・遅れが生じたり、時計が止まる場合があります。
 - 浴室など湿度が90%以上になる所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接当たるような所。
 - 振動のある所。不安定な所。
 - 工場、台所など、多くの油を使用する所。
霧状になった油分が時計の歯車などに付着し、時計が止まる場合があります。
 - ビニール系素材の壁、敷物などの上。
壁や敷物、および時計が汚れたり傷むことがあります。
 - 木枠の時計の場合は、空気が非常に乾燥した状態や湿気の多い状態が続くと、枠が傷むことがあります。また、40℃以上の高温になると、接合部が変形したり損傷することがあります。
 - 寒い所から暖かい所への移動などによる、急激な温度変化を避けてください。
（結露に注意してください）

本製品をご使用の際は、できるだけ電波を受信しやすい窓際などに設置してください。
なお、天候、時間帯、建物の影響など、次のような環境条件の下では正確に受信できないことがあります。場所を変えてご使用ください。

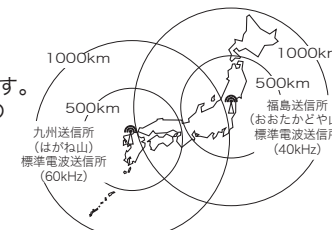
- ビルの中、ビルの谷間、地下
 - 高圧線、テレビ塔、鉄道の架線の近く
 - 冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリなどの家電製品やOA機器の近く
 - 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の発生しやすい所
 - 乗り物の中（自動車、電車、航行機など）
 - スチール机など、金属製の家具の上や近く
 - その他、電波ノイズを発生させるものの近く
- ※ 電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で動作します。

電波クロックについて

- **電波時計/電波修正機能とは？**
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に時刻を修正・表示します。
- **標準電波とは？**
情報通信研究機構（NICT）が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2カ所から異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という超高精度を誇る『原子時計』によるものです。
- **電波の受信について**
標準電波の受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所（東・西2カ所）から、おおむね1000km~1200kmです。この製品は、40kHz（福島送信所）、60kHz（九州送信所）のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し、受信します。ただし、天候、設置場所、時計の向き、時間帯、地形、建物の影響などによって、受信できない場合があります。

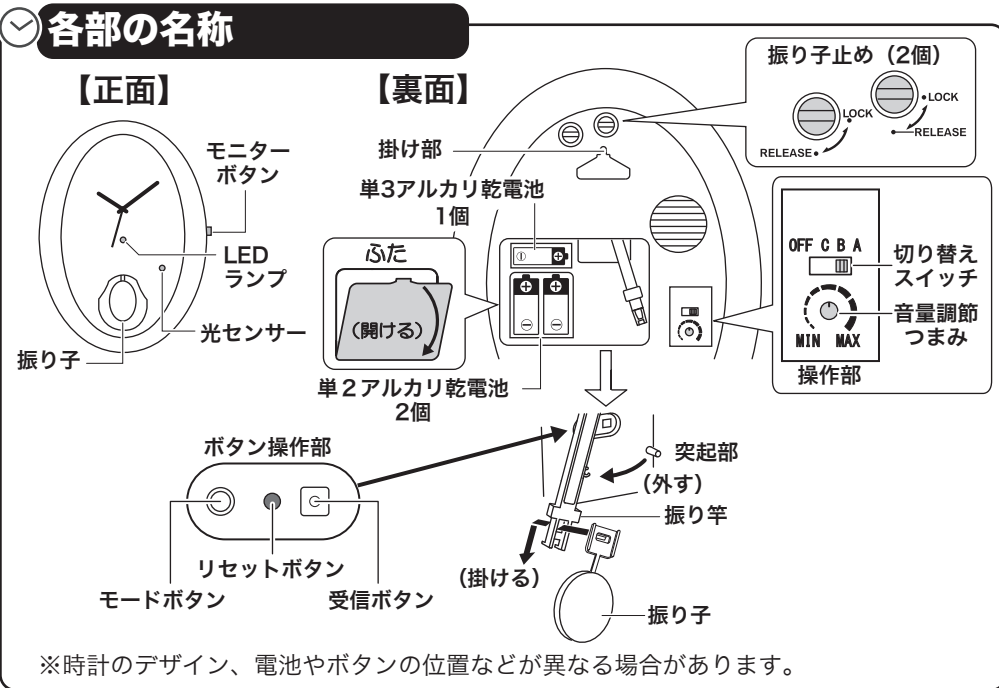
■ ご注意

- 電波障害などによって、誤った時刻が表示される場合があります。また、設置場所や電波状況によっては受信できないことがあります。そのようなときは、場所を変えてお使いください。
- 電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で動作します。
- 標準電波は、毎時15分と45分から各1分間はコールサインの送信を行うため、一部の時刻情報の送信が中断されます。また、設備のメンテナンスや落雷などの影響により電波の送信が停止（停波）することがあります。停波に関する情報は、弊社ホームページをご覧ください。
（ホームページアドレス <http://www.seiko-clock.co.jp>）



お手入れについて

- 末永くご愛用いただくために、2~3年に一度の点検・調整（有料）をお勧めします。
詳しくは販売店にご相談ください。
- お手入れの際、ベンジン、シンナー、アルコール、磨き粉、各種ブラシなどは使用しないでください。また、殺虫剤、ヘアスプレーなどがかからないようにしてください。変色したり、傷が付く恐れがあります。
- プラスチック枠の時計の場合**
- 枠を清掃するときは、湿った、やわらかい布でふいてください。
 - 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少量、やわらかい布に含ませてふいてください。その後、やわらかい布で乾きさせてください。
- 木枠・金属枠の時計の場合**
- 汚れやほこりを取るときは、やわらかい布で乾きさせてください。
- ※ お客様が本製品を分解されると、修理不可能となる場合があります。また、けがの恐れがあり大変危険です。さらに、保証の対象外となりますので、ご注意ください。



- ### 付属品
- ご使用前に確認してください。
- 取扱説明書 (本書) 1枚
 - 保証書 1枚
 - 振り子 1個
 - 単2アルカリ乾電池 2個、単3アルカリ乾電池 1個
 - 木ねじ 1本 (厚い木の壁・木の柱専用)
 - 曲名のチラシ 1枚
 - 製品のお取扱いに関する重要なお知らせ 1枚
- ※石膏ボード用掛け具 (掛金具1個、釘5本 (1本は予備)) は、製品によっては付属しません。

製品仕様 改良のため予告なく変更する場合があります

精度: 平均月差±20秒 (電波受信による時刻修正を行わない場合・気温5℃~35℃で使用した場合)

使用温度範囲: -10℃~+50℃

使用電池: 単2アルカリ乾電池 (LR14) 2個、単3アルカリ乾電池 (LR6) 1個

電池寿命: 約1年

電波受信機能: ※1日あたり、16回の報時動作を行った場合 (音量「中」のとき)

- ・自動受信… 毎日午前2時、以後3時間ごとに受信 (受信から次の受信まではクオーツの精度で動作)
- ・手動受信… ボタン操作による

2つの電波 (40kHz/60kHz) のうち最適な方を選択し、受信します。

受信結果確認機能: ボタン操作により、LEDランプで表示

時刻合わせ機能: 電波受信による自動セット、または手動セット

報時: 正時 (毎時00分) にメロディ演奏 (曲自動送り)

光センサーによる

- ・自動秒針停止機能: 暗くなると秒針が「12時の位置」で停止
- ・自動鳴止機能: 暗くなると報時を停止

※指針 (針の表示) 誤差について: 構造上、若干の指針誤差が生じる場合があります。

※電池の寿命はご使用の条件によって変わります。

故障かな?と思ったときは

本製品が正常に動作しないときは、修理を依頼される前に、以下の表を参考に対処してください。なお、新しい電池と交換する場合は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症状	考えられる原因	処置方法
針が動かない	・電池が入っていない ・電池が正しい向きに入っていない ・電池の端子や電池ボックスの接片が汚れている	・新しい電池を、向きを確かめながら入れてください。 ・電池の端子や電池ボックスの接片の表面を拭いてください。また、電池を入れた後、電池を2~3回転させてください。
針が不規則に動く	・静電気などにより、マイコンが誤作動している ・電波の受信中、または時刻修正中である	・リセットボタンを押してください。 ・受信終了後、通常の動作に戻ります。
秒針が「12時の位置」で停止している	・自動秒針停止機能が作動している ・電波の受信中、または時刻修正中である	・室内が明るくなると秒針が動き始めます。 ・受信が終了すると秒針が動き始めます。
ボタンやスイッチの操作が効かない	・電波の受信に成功し、時刻の修正中である ・リセット後の、電波の受信中である	・時刻の修正動作が終了してから、再度ボタンやスイッチを操作してください。
時刻が合っていない	・電池の容量が少なくなっている ・きちんとリセットされていない	・「電波を受信できなかった場合」を参照し、再度受信させてください。 ・新しい電池を、向きを確かめながら入れてください。 ・リセットボタンを確実に押してください。
振り子が動かない	・電池の容量が少なくなっている ・時計が傾いている	・新しい電池を、向きを確かめながら入れてください。 ・時計を水平に掛けてください。
報時しない	・自動鳴り止め機能が作動している ・鳴止スイッチがOFFになっている	・室内を明るくすると報時します。 ・スイッチをA~Cのいずれかにしてください。

- ### ご使用方法
- 電池を入れる (単2アルカリ乾電池 2個、単3アルカリ乾電池 1個)**
本体裏面のふたを開けて、⊖側から電池を入れてください。振り子止め (2個) をRELEASE側に回して、引き抜いてください。次に、振り竿を左へ動かして突起部から外してください。
- 注意**

 - ・電池の⊕ ⊖の向きを間違えないように注意してください。
 - ・種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
 - ・充電式電池や初期電圧の高い電池を使用しないでください。正常に動作しなかったり、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。
- (リセットボタン) を押す**
受信を開始し、現在の時刻に調整されます。
 - ・針が下記の時刻のいずれかで一時停止し、電波の受信を開始します。(4時00分、8時00分、12時00分の各00秒)
 - ・受信に必要な時間は最長約20分です。
- 重要** 電池の交換後は、必ず ● (リセットボタン) を押してください。

※リセットボタンは先の細いもので押してください。

※夜間は昼間よりも受信状態が良くなります。昼間に受信できなかった場合でも、翌日までに自動で受信できることがあります。

参照 詳しくは、裏面の『電波クロックについて』をご覧ください。

受信に成功した場合

自動で時針と分針が現在の時刻に調整されます。その後、「00秒」に合わせて秒針が動き出します。

受信できなかった場合

針の一時停止が解除され、秒針が動き始めます。このとき、電波の再受信は行いません。

参照

『電波を受信できなかった場合』の順に従って、場所を変えて再度受信させるか、手動で時刻を合わせてください。

- 受信結果を確認する**
通常のご使用中に [受信ボタン] を1回押すと、以下のようにLEDランプの点滅状態によって、電波の受信結果が表示されます。
- | | |
|---------|-------------------------|
| ゆっくりと点滅 | 過去24時間以内に受信に成功しています。 |
| 早く点滅 | 過去24時間以内に、一度も受信できていません。 |
- ※LEDランプの点滅は数秒間続きます。
- 正時 (毎時00分) にメロディを鳴らす/鳴らさない**
[切り替えスイッチ] を選択してください。
- | | |
|-------|--|
| A、B、C | 正時になると報時動作 (メロディ演奏) を行います。 ※メロディは、正時になるたびに切り替わります。 |
| OFF | 正時になっても報時動作を行いません。 |
- ※暗い所では光センサーにより、報時動作を行いません。(睡眠の妨げ防止のため)

- 振り子を掛ける/本製品を設置する**
振り子の向きを確かめて、振り竿の下部に掛けて、軽く下へ引いてください。(左右に軽く動かして確実に掛かっていることを確かめてください) 裏面のふたを閉めて、本製品を使用したい場所に掛けてください。 ※窓際など、できるだけ電波を受信しやすい場所に掛けてください。斜めに掛けた場合、振り子が動作しないことがあります。
- 参照** 付属の『製品のお取扱いに関する重要なお知らせ』に従って、本製品を正しく掛けてください。

自動受信について

毎日、午前2時に自動で電波を受信します。

- ・以後は3時間ごとに電波の受信を繰り返します。(1日8回)

この場合、秒針は「12時の位置」で停止し、分針は約30秒ごとに動作することがあります。(故障ではありません)

便利な機能

光センサーによる自動秒針停止機能について

光センサーによって時計の周囲の明るさを検出し、暗くなると秒針が「12時の位置」で停止します。明るくなると、「00秒」に合わせて秒針が動き出します。

※ 秒針が停止している間も、時針と分針は正しい時刻を表示します。

- ### 電波を受信できなかった場合
- #### 手動で電波を受信して時刻を合わせる
- ① 電波状況の良い窓際などへ移動する**
 - ② [受信ボタン] を長く押す (約2秒)**
LEDランプが点灯するまで押し続けてください。しばらくすると秒針が停止し、受信を開始します。
 - ・受信できなかった場合、針は元の時刻に戻ります。場所を変えて、もう一度受信させてください。
- #### 手動で時刻を合わせる
- 電波を受信できない場合は、手動で時刻を合わせるすることができます。
- ① [モードボタン] を長く押す (約2秒)**
秒針が停止するまで押し続けてください。
 - ② [受信ボタン] を押して時刻を合わせる**
ボタンを1回押すごとに、分針が1分進みます。ボタンを押し続けると、ボタン離すまで分針が進み続けます。
 - ③ [モードボタン] を押す**
ボタンを押すと同時に、秒針が動き出します。 ※5分以上ボタンを操作しない場合は、自動的に秒針が動き出します。

- ### メロディを鳴らす場合
- #### 曲を選ぶ
- 付属の曲名のチラシから、お好みの曲の組み合わせ (A、B、C) を選んでください。 ※ [モニターボタン] を押すと、選んだ曲を確認できます。
- #### 音量を調節する
- (音量調節つまみ) でメロディ演奏の音量を調節できます。 MINの方向に回すと、音量が小さくなります。 MAXの方向に回すと、音量が大きくなります。
- ・ [モニターボタン] を押すと、設定した音量でメロディが鳴ります。音量調節つまみを回して、お好みの音量に調節してください。 ※調整中にメロディを途中で止めたい場合は、[切り替えスイッチ] をいったんOFFにしてください。
- 参照** 詳しくは、『便利な機能』の『モニター機能について』をご覧ください。

- ### 自動受信を止めたい場合
- 海外で使用する場合や、時刻をずらして使用したい場合は、自動受信を止めてください。
- ① [受信ボタン] を長く押す (約7秒以上)**
※途中でLEDランプが点灯しますが、そのまま押し続けてください。LEDランプが素早く点滅し (1秒間)、自動受信が止まったことをお知らせします。
- メモ**

 - ・自動受信を止めても、手動受信を実施すると電波の受信を開始します。(その後、自動受信は行わず、クオーツの精度で動作します)
 - ・自動受信を再開したいときは、● (リセットボタン) を押してください。
- ② 『手動で時刻を合わせる』の順に従って時刻を合わせる**

モニター機能について

[モニターボタン] を押すと、時刻に関係なく報時動作 (メロディ演奏) を行います。また、演奏中にモニターボタンを押すたびに曲が切り替わります。